

科目名	単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
化学基礎	2	1年・普通科 プログレッシブ スタンダード	必修	化学基礎 (東京書籍)	セミナー化学基礎 (第一学習社)

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・化学の学習内容が日常生活や社会と関わりが深いことを知り、身近な物質とその変化への関心を高めるとともに健康で安全な生活を送るために欠かせないものであることを理解する。 ・化学の基本概念や原理・法則を具体的な物質の性質や反応と結び付けて理解し、それらを発展的に活用する能力を身に付ける。 ・物質に関する原理・法則の基礎を理解し、物質とその変化を微視的にとらえる見方や考え方を養う。
主な学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・物質の分類や物質の構成とその結合について学習する。 ・原子量・分子量・式量・物質量を理解し、物質量を用いた計算を学習する。 ・化学変化で一定の量的関係が成り立つことを考察する。 ・酸と塩基および酸化還元反応について学習する。
評価の 観点・規準	<p>A「関心・意欲・態度」身の回りの化学に関する現象に関心をもち、意欲的に探究しようとする態度があり、また、科学的な見方や考え方を身につけているかどうかの観点から評価する。</p> <p>B「思考・判断・表現」化学に関する現象の中に問題を見出し、科学的に考察し導き出した考えを的確に表現できるかどうかの観点から評価する。</p> <p>C「観察・実験の技能」観察・実験を通して、基本操作を習得するとともに、結果を記録・整理し、自然を科学的に探究する技能を身につけているかどうかの観点から評価する。</p> <p>D「知識・理解」化学に関する基本的な原理・法則を理解し知識を身につけているかどうかの観点から評価する。</p>
評価の方法	<p>A 授業への取り組みやレポートの内容で判断、評価する。</p> <p>B レポートの内容や定期考査で判断、評価する。</p> <p>C 実験中の器具等の操作や結果、およびレポートの内容で判断・評価する。</p> <p>D レポートの内容、定期考査、小テスト等で判断・評価する。</p> <p>以上、A～Dの観点で総合的に評価する。</p>

学期	内容
1 学期	<p>序編 化学と人間生活 化学が物質を対象とする科学であることを理解し、化学が人間生活に果たしている役割を学習する。</p> <p>第1編 物質の構成 ・1章 物質の探究</p> <p>第1編 物質の構成 ・3章 化学結合 粒子の結びつき方について学習する。 期末考査</p>
2 学期	<p>第2編 物質の変化 ・1章 物質量と化学反応式 原子・分子の量的扱い、化学反応における量的関係について学習する。 中間考査</p> <p>第2編 物質の変化 ・2章 酸と塩基 酸・塩基の基本的性質、中和反応について学習する。 期末考査</p>
3 学期	<p>第2編 物質の変化 ・3章 酸化還元反応 電子のやりとりについて学習する。 学年末考査</p>

<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none">・ 講座の特色・ 履修条件・ 注意事項 <p>等</p>	
--	--